

衆議院外務委員会ニュース

【第211回国会】令和5年3月15日（水）、第3回の委員会が開かれました。

1 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第11号）

- ・林外務大臣、和田内閣府副大臣、山田外務副大臣、秋本外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、立憲、維新、公明、共産、国民、有志）
（質疑者）辻清人君（自民）、金城泰邦君（公明）、源馬謙太郎君（立憲）、篠原豪君（立憲）、和田有一朗君（維新）、空本誠喜君（維新）、穀田恵二君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

辻清人君（自民）

- （1） 在外公館名称位置給与法改正案
 - ア 在勤基本手当の基準額改定の背景及び充足性
 - イ 現在円貨建てで支給されている在勤手当を外貨建て支給に変更する必要性について外務省の見解
 - ウ 子女教育手当に関する改正の概要
 - エ 勤務地の異動に際し年少子女の就学環境の継続が図られるよう算定基準を柔軟化する必要性について外務省の見解
- （2） 在外職員の出産時の費用助成の現状

金城泰邦君（公明）

在外公館名称位置給与法改正案

- ア 在ローマ国際機関日本政府代表部新設の目的及び概要
- イ 食料問題関連の国際機関の幹部ポストの獲得を目指すことについて林外務大臣の所見
- ウ 在外公館の250公館体制の実現という目標の進捗状況と在外公館拡充による外交成果
- エ 在勤手当の外貨建て支給の必要性及び研修員手当のうち授業料等に充当される部分を実費支給とすることについて外務省の見解
- オ 在外職員の負担が本邦勤務よりも過重にならないように処遇する必要性について林外務大臣の所見

源馬謙太郎君（立憲）

- （1） 在外公館名称位置給与法改正案
 - ア 在ローマ国際機関日本政府代表部の将来的な実館化と人員増強の見通しについて林外務大臣の所見
 - イ 急激な為替変動に対応するためとしながら昨年秋の臨時会における法改正を見送った経緯について外務省の見解
 - ウ 在勤手当の外貨建て支給について林外務大臣の所見と導入に向けた課題
 - エ 子女の学年・学期の途中で帰朝・転勤する場合に任国政府による離任要請や戦争や災害を受けた場合以外においても納付済みの学費の額を子女教育手当として支給することについて外務省の見解
- （2） 秋本外務大臣政務官が政策秘書（B）を介して私設秘書（C）に政策秘書給与を支払っていた事案について秋本外務大臣政務官の指揮命令、Cの勤務の実態及びBC間の業務委託契約書の内容

篠原豪君（立憲）

- (1) 在外公館職員
 - ア 「外交官」の範囲並びに外交官をサポートする職員の人数及び雇用管理の状況
 - イ 在外職員の配偶者に対する支援の検討状況
- (2) ロシアのウクライナ侵略
 - ア G7首脳テレビ会議の首脳声明に盛り込まれた第三国による制裁回避を防ぐための調整メカニズムについて具体的な設立時期及び期待される効果
 - イ 軍事転用が可能な民生品の輸出管理の強化の必要性
 - ウ 現在問題となっている軍事転用が可能な民生品に関する見解
 - エ G7諸国の結束維持の見通しについて林外務大臣の見解
 - オ グローバルサウスの重要性について林外務大臣の認識

和田有一朗君（維新）

- (1) 在外勤務職員の在勤基本手当等の算出基準及び算出方法等からみた増額改定の妥当性
- (2) 世界保健機関（WHO）の日本人事務局長の解任について我が国政府の見解及び国際機関において日本人職員が幹部職員として働くためのバックアップについて林外務大臣の所見

空本誠喜君（維新）

- (1) 北朝鮮による拉致問題について北朝鮮との交渉窓口及び友好国との連携の現状
- (2) 温室効果ガスの排出削減
 - ア 新興国の温室効果ガス排出に対する認識及び排出抑制に向けた我が国の国際貢献
 - イ 新興国に対する高効率石炭火力発電の技術供与及び他の先進国へ向けた石炭火力発電に対する立場の説明について林外務大臣の見解
- (3) 我が国の原子炉開発を進めるに当たっての二国間原子力協定の重要性についての認識

穀田恵二君（共産）

- (1) 在外公館名称位置給与法改正案
 - ア 在ローマ食料関連国連三機関（国連食糧農業機関（FAO）、国連世界食糧計画（WFP）、国際農業開発基金（IFAD））の果たす役割について林外務大臣の認識
 - イ これまで我が国が政府代表部を置いてこなかった理由及び今回我が国が政府代表部を置くことの意義及び外務省職員増員計画における位置づけ
- (2) 我が国の食料安全保障
 - ア 昨今の深刻な食料危機が起きている状況に関して林外務大臣の認識
 - イ 飼料・肥料価格の高騰に伴う各国における国内生産者への支援の状況及び我が国国内の酪農、農林漁業者への抜本的な支援に取り組む必要性